



■ 「子どもたちから見た岩小のよさ」

- ① 「生活の3本柱」がしっかりできる
- ② スマイル（笑顔があふれる学校）
- ③ 学年を越えてなかよし・やさしい
- ④ みんな明るくて元気
- ⑤ 児童会活動
- ⑥ 学校目標「ひとりになれる ひとつになれる」



＜ 学校教育目標 ＞

ひとりになれる ひとつになれる

※ 「ひとりになれる ひとつになれる」の具体の姿  
10年後の子どもたちに必要な力く挑む、わたし！、夢中、らしく、誰とでも>と捉え、その実現を目指す。

■ 「R3学校評価」「R3全国学調質問紙」から

- 授業中、友だちの話を最後までよく聞く
- 自分の考えや根拠を書いたり表現したりする
- △ 「自分にはよいところがある」自己有用感
- △ 総合的な学習の時間で課題をもって調べる
- △ 授業の終わりの振り返り

■ 10年後の子どもたちに必要な力 ■

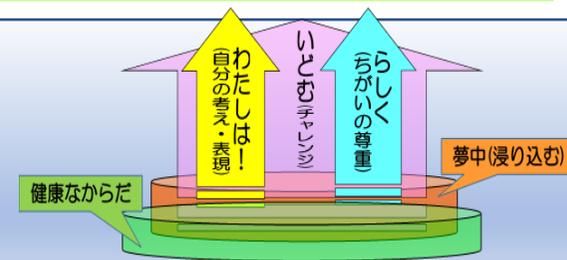
**い**どむ  
失敗を恐れず、あきらめずにチャレンジ

**わ**たし！  
自分の考えをもち、自ら判断し自ら行動

**む**ちゅう  
とことん考え、とことん浸り込む

**ら**しく  
自分の夢をもち、自分のよさを大切に

**だ**れとでも  
自分とは違う他者を認め、協働できる



重点1：子どもの主体性が育つ学習

- 取組①：「自分の考えをもつ」授業 ㊦ ㊧
- ・自分らしく、自分の言葉で語る習慣づくり
  - ・考えを整理、練り上げ、表現する「書く活動」
  - ・指示やジャッジを子どもの手に委ねる大人
  - ・ICT 機器活用による自分らしさの伸長
- 取組②：教科の本質に迫る深い学びの実現 ㊦
- ・日常生活や教科の見方考え方とつなぐ振り返り
  - ・「生きて働く」知識・技能への転換
  - ・教科の楽しさ・喜びにつなげる深みのある授業
- 取組③：学級の宝「楓の時間」の充実 ㊨ ㊩
- ・子どもの願いや問いから始まる生活科総合学習
  - ・新設「楓の日」を活用したダイナミックな学び

重点2：ちがいに寛容な心が育つ教室

- 取組① ちがいに学び合う教室 ㊦ ㊧
- ・クラスの中の自分とちがう人・考え・やり方を知り、認め合い、ちがいから学び合う学級経営
  - ・「わからない・教えて」が言え、聞き合える教室
  - ・異年齢の中で芽生える自立・愛情・信頼・憧れ
  - ・特別支援教育に関する校内研修の充実
- 取組② 複数教員による授業づくり ㊨ ㊩ ㊪
- ・「担任交代制」…教師の専門性や指導の違いから子らの興味関心広げ、多面的な子ども理解促進
- 取組③ 多様な大人と学ぶ場づくり ㊨ ㊩
- ・岩村田を愛する大人に学ぶ「岩村田学」
  - ・「まちゼミ」を発展させたキャリア教育構築

重点3：誠実さと笑顔を育む伝統の継承

- 取組① 生活の3重点「あいさつ」 ㊦ ㊧ ㊨
- 取組② 生活の3重点「靴そろえ」
- 取組③ 生活の3重点「清掃無言」
- ・ルール・慣習からでない、意味の問い直し「なぜあいさつ、くつ揃え、清掃無言」？「清掃に集中することで無言になる」とは？
  - ・やり甲斐が感じられる環境づくりや評価
  - ・なかよし学級の友だちから学び合い育ち合う
- 取組④ 子どもたちが創る児童会活動・学校行事 ㊨
- ・児童会スローガンを核にした諸活動の充実
  - ・「どんな〇〇を創りたいか、したいか」子どもたちの発想や願いから始める行事企画

■ 学校運営を支える教師の構え：① 大人は、「子どもの学び・育ちを支える」「主人公は子ども」という目的を達成するための伴走者という意識を常に大切にする。  
② 学校の大きな節目「150周年」をまたとない子どもの育ちの機会と考え、「願い」と「目指す方向」を年度当初に鮮明にする。